

平成28年版

第一勧信レポート



この冊子に関しますご意見ご質問は、
下記の電話でお受けしております。

03-3358-9452

第一勧信のホームページ

<http://www.daiichikanshin.com/>

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-13 第一勧業信用組合 経営企画部

はじめに

当組合は、本年5月をもちまして創立51周年を迎えることができました。これもひとえに、皆さまのご愛顧の賜物とあらためて感謝申し上げます。

現代は、物や金から人、均一性から多様性、量から質へと時代が変化しています。この時代において地域金融機関としての信用組合の役割は益々重要となっており、当組合はこの時代や社会の要請に本気できめ細かく応えていく所存です。

東京を元気にするために、若者や女性の創業・起業を積極的に支援いたします。創業期の企業へ出資を行う「かんしん未来ファンド」、融資ニーズには「かんしん未来ローン」、創業者のネットワークづくりには「かんしん未来くらぶ」と、当組合は創業者へのあらゆる支援を惜しみません。

また、組合員の事業内容を正しく評価する「目利き力」ナンバーワンの金融機関を目標としています。これは「過去」の実績に基づく従来型の金融と決別し、担保や格付に頼らず、地域の組合員の皆さまに寄り添い未来をともに語り合える「未来志向の組合」を目指すものです。

さらに、当組合は東京だけではなく、信用組合の相互扶助の精神に基づき地方の信用組合とも提携し、地方創生にも貢献してまいります。

「地域金融機関のトップランナー」として未来を見据えて走り続ける私ども第一勧業信用組合に今後とも一層のご愛顧をたまわりますよう心よりお願い申し上げます。



理事長
新田 信行

目次

はじめに	1	6. 決算の状況	7.8
1. 第一勧信「未来」への取組み	2	7. 預金・積金の状況	9
2. 経営理念・平成28年度の重点施策	3	8. 貸出金の状況	10
3. 中期経営計画	4	9. 普通出資金・組合員数の状況	11
4. 地域とのふれあい	5	10. みずほフィナンシャルグループとの関係	12
5. クレド	6	営業店舗一覧	13.14

1 | 第一勧信「未来」への取組み

● 新たな取組みを強化します。

当組合は、地域金融機関としての機能をフルに活用し、いかにお客さまのお役に立てるかを常に考えております。その一つとして、平成27年度は以下の活動を開始しました。

■ 創業支援

当組合は、若者・女性等の創業支援を目的として「創業支援室」を新設いたしました。

平成27年12月に地域活性化ファンド「かんしん未来ファンド」を設立し、アーリーステージの起業家の方へ、出資による安定的な資金の供給を開始いたしました。



また、「かんしん未来ファンド」の設立と同時に、創業支援貸出商品「かんしん未来ローン」を発売いたしました。出資とご融資両面でお客さまをサポートしてまいります。

平成28年2月には、お取引先同士の親睦、関係強化、接点拡大など会員の皆さまの発展に貢献すべく、「かんしん未来くらぶ」を設立しました。

平成28年4月には都内信用組合では初めてとなる、日本政策金融公庫との連携による創業支援に特化した融資商品「未来へのコラボ」の取扱いを開始いたしました。

■ 産学連携協定

当組合は、平成28年1月に学校法人東京理科大学および東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社と、産学連携協定を締結いたしました。都内の「モノづくり企業」の皆さまを対象にした技術開発、技術教育等のご支援、ベンチャー企業の創出・成長など地域の活性を目的としています。



■ 地方連携

「地方と東京を結ぶ組合」をキャッチフレーズとして、「相互扶助の精神に基づき、相互に連携、協力して地域社会の発展や組合員の皆さまの幸せに貢献する」ことを目的に、「地方連携室」を新設いたしました。

地方企業の東京進出のお手伝い、地方物産の販売ルートの紹介やロビー展の企画により、地方の魅力を都内の方々にお伝えする役割の一端を担っています。

また、本店2階に「地方連携オフィス」を設置し、地方信用組合の「東京事務所」として、会議やビジネスマッチングにお使いいただけるよう、開放しています。

平成28年2月には新潟県の塩沢信用組合、糸魚川信用組合と連携協定を締結いたしました。（表紙上段左の写真は協定書調印式の様子）

続けて、平成28年4月には北海道の北央信用組合、福島県のいわき信用組合、秋田県の秋田県信用組合、千葉県君津信用組合とも連携協定を締結いたしました。当組合は地方創生にも尽力いたします。

2 | 経営理念・平成28年度の重点施策

● 第一勸信は、地域とのふれあいを大切にし、皆さまの幸せに貢献いたします。

当組合は、東京都内全域を営業地区とし、地域の事業者や個人の皆さまが組合員となって、お互いに助け合い、発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組織金融機関です。

私どもの店舗のある都内各地域では、数多くの事業所が生産活動・販売活動等を行っております。また、その事業所で働く多くの経営者・従業員の皆さまと、その地域で生活する多数の個人の方々がいらっしゃいます。こうした地域社会の皆さまに一番身近な金融機関として、「地域とのふれあいおよび地域への貢献」こそが、私どもの最重要事項であり、果たすべき役割であると考えております。

このような社会的使命と役割を果たすために、私どもは経営理念・スローガンを掲げ、その実現を目指して全役職員が日々努力を重ねております。

経営理念

地域とのふれあいを大切にし、皆さまの幸せに貢献いたします。

平成28年度の重点施策

1. 若者・女性を応援する組合
2. 地方と東京を結ぶ組合
3. 食文化を支える組合
4. 街づくりに貢献する組合

3 | 中期経営計画

● 平成26年4月1日からの3カ年で中期経営計画を推進しています。

当組合は、昨年5月におかげさまで創立50周年を迎えました。私どもはこの機会を「第二の創業」と捉え、以下の項目を実現し皆さまに更に愛される協同組織金融機関を目指します。

【新中期経営計画概要】

■実施期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日
(3カ年計画)

■コンセプト：『おかげさまで創立50周年、皆さまへの感謝をこめて』

■愛称：「かんしん Smile 50」

【新中期経営計画に係る基本方針】

I. 笑顔で明るい店づくりを実現します。

- ・地域の皆さまに気軽にご来店いただける、明るい笑顔のおもてなしで居心地のよい窓口・ロビーにいたします。

II. お客さまとの一層のふれあいを実現します。

- ・スピードとフットワークのよさで、より多くのお客さまとのふれあいを大切にいたします。

III. お客さまの多様なニーズにお応えします。

- ・金融商品・サービスの充実、ビジネスマッチング等で、お客さまのお役に立つ金融機関を目指します。

IV. 地域の発展に積極的に貢献します。

- ・地域の行事に積極的に参加し、地域貢献を実行してまいります。

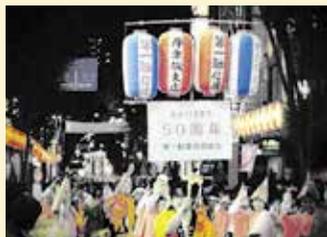
4 | 地域とのふれあい

● 第一勧信は地域のイベントに積極的に参加します。

当組合は地域の一員として地域の発展に貢献することを経営理念に掲げ、金融業務を通じた地域貢献はもとより、お客さまが開催されるイベント等に積極的に参加します。これにより、お客さまとの「Face to Face」の繋がりを更に深いものとし、地域の発展に貢献します。

■ 地域イベントへの参加実績（平成 27 年度）

イベント	参加件数
祭礼行事	45
町内会行事等	230
計	275



■ 参加イベント例

祭礼行事

- ・ 菖蒲まつり ・ 阿波踊り ・ さんま祭り
- ・ 八幡神社祭礼 ・ 氷川神社祭礼 等

町内会行事等

- ・ 商店街感謝祭 ・ 新年会 ・ 節分会
- ・ 納涼会 ・ ラジオ体操 等



■ 「ふれ愛くらぶ」活動の充実

- ・ 「ふれ愛くらぶ」とは、当組合にて年金をお受け取りいただいているお客さま、および年金お受け取りのご予約をいただいたお客さまで構成された親睦会組織です。
- ・ 平成 27 年 7 月、明治座貸切公演として、866 名のお客さまがご来場下さり、「水森かおり・山川豊 お芝居と歌謡ショーで夢の競演」をお楽しみいただきました。
- ・ 平成 27 年 11 月、539 名のお客さまにご参加いただき、静岡県焼津黒潮温泉への「ふれ愛の旅」（1泊2日）を実施いたしました。



■ 店舗のリニューアルオープン

平成 27 年 7 月に亀有支店、同年 9 月に羽田支店を移転いたしました。（表紙上段右の写真は亀有支店のテーブルカットの様子。表紙 2 段目左の写真は羽田支店のテーブルカットの様子）

また、平成 28 年度は 8 月に向島支店、9 月に鶯谷支店の移転を予定しております。

5 | クレド

● 第一勧信の職員は「クレド」を実践します。

クレドとはラテン語で「信条」「志」を意味する言葉です。私たち第一勧信の職員は、経営理念、スローガンを実践するために心がける信条＝クレドを制定し実践してまいります。

私たちのクレドは以下のとおりです。

支店経営のクレド

1. 私たちは、お客さまのご要望に対し、「できない理由」を考える前に「どうしたらできるのか」を考え、実現のために全力を尽くします。
2. 私たちは、お客さまに、気軽にご来店いただき、笑顔でご満足いただける地域ナンバーワンの店舗を目指すよう、日々努力します。
3. 私たちは、地域に役立ち、お客さまの幸せをサポートするために、汗を流して頑張ります。

お客さま保護のクレド

1. 私たちは、差別意識を排除し、一人ひとりの人格を大切にします。
2. 私たちは、お天道様（良心）に恥ずかしくない行動をとり、実践します。
3. 私たちは、お客さまの立場になって、お客さまの目線で考え、お客さまを第一に考え対応します。
4. 私たちは、第一勧信に勤めて良かった（職員から）、第一勧信がこの街にあって良かった（お客さまから）と思っただけの信用組合にします。
5. 私たちは、他の職員に対しても、家族同様、愛情を持って接します。

融資業務のクレド

1. 私たちは、地域の皆さまに信頼され地域の発展に貢献できるよう、営業部、本部が一体となり、お客さまのご依頼・要望に対し、すばやく回答します。
2. 私たちは、お客さまの現況を理解し、お客さまの目線で資金のニーズにお応えします。
3. 私たちは、日々の活動の中でお客さまとの接点を強化し、財務諸表のみに頼らず、お客さま一人ひとりの考えや現場の環境を十分に配慮した融資対応をいたします。
4. 私たちは、事業再生を目指すお客さまからのご相談に対して親身にお応えし、改善計画への取組みを積極的に支援します。
5. 私たちは、ものづくりや創業を目指すお客さま、地域経済の成長分野に貢献するお客さまへ積極的に支援します。

事務業務のクレド

1. 私たちは、一つの声掛けが事故を防ぎ、積極的に行動する姿勢がお客さまの信頼を高め「絆」になると考えます。「相手の気持ちに気付く」、「誰かではなく自ら行動する」を常に意識して日々の業務に臨みます。
2. 私たちは、お客さまに「また第一勧信の窓口に通ってほしい」と思っただけのように、日々努力します。
3. 私たちは、お客さまに喜んでいただけるよう、常に笑顔でお客さまをお迎えし、お客さまの目線で考え、誠実な事務を行います。

6 | 決算の状況

●平成27年度の決算は預金は減少したものの、貸出金は増加し、当期純利益は前年度を大幅に上回りました。

当組合は、地域密着とお客さま第一主義の実践を経営の柱に掲げ、業務推進に努めてまいりました。

平成28年3月末の総預金残高は、前年度を51億円下回る3,131億円となり、総貸出残高は、2,318億円と前年度を83億円上回る結果となりました。

損益につきましては、当期純利益14億円と前年度比3億円増加いたしました。この結果、平成28年3月末の自己資本比率は7.78%と前年度末を0.28%下回りましたが、引き続き国内基準4%を上回る健全な水準を維持しております。

■自己資本比率

一般的に企業が総資産に対して自分自身のお金をどの程度保有しているかを示す指標で、比率が高いほど安全性が高いといえます。信用組合の場合、出資金などの自己資本額を貸出金などの資産にリスクウェイトで調整したリスクアセット等で割って算出します。



■当組合の決算状況（主要経営指標）

（単位：百万円）

利益および自己資本額	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収益	6,799	6,401	6,728
実質業務純益	1,769	1,005	969
経常利益	1,014	957	1,260
当期純利益	1,105	1,127	1,472
自己資本額	12,952	13,740	14,224

（単位：%）

諸比率	平成25年度	平成26年度	平成27年度
自己資本比率	8.28	8.06	7.78
ROA（総資産業務純益率）	0.53	0.30	0.28
OHR（業務粗利益経費率）	69.79	81.67	82.38

（単位：億円）

残高	平成25年度	平成26年度	平成27年度
預金積金残高	3,145	3,182	3,131
貸出金残高	2,179	2,234	2,318
有価証券残高	112	115	30
総資産残高	3,285	3,330	3,392
純資産残高	88	99	113
リスク管理債権残高	175	177	178

（単位：人）

職員数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
男性	223	223	220
女性	112	123	133
合計	335	346	353

7 預金・積金の状況

●平成27年度末の預金残高全体は
3,131億円となりました。

■直近3ヵ年の状況

(単位：億円)

	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
預金	3,145	3,182	3,131

■預金者別残高の状況

(単位：億円/%)

	平成26年度末		平成27年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
個人	2,457	77.2	2,428	77.5
法人	725	22.7	702	22.4
一般法人	666	20.9	653	20.8
金融機関	0	0.0	0	0.0
公金	57	1.8	48	1.5
合計	3,182	100.0	3,131	100.0

8 貸出金の状況

●平成27年度末の貸出金残高全体は
2,318億円となりました。

地域の中小企業や個人の皆さまのニーズに幅広くお応えすべく、積極的に融資を推進し、平成27年度末の貸出金残高全体につきましては83億円の増加となりました。

■直近3ヵ年の状況

(単位：億円)

	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
貸出金	2,179	2,234	2,318
住宅ローン	713	709	684

■業種別貸出残高の状況

(単位：億円/%)

	平成26年度末		平成27年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	108	4.8	104	4.4
建設業	96	4.2	89	3.8
情報通信業	38	1.7	38	1.6
運輸業、郵便業	26	1.1	27	1.1
卸売業、小売業	187	8.4	168	7.2
不動産業	597	26.7	723	31.1
学術研究、専門・技術サービス業	35	1.5	36	1.5
宿泊業	43	1.9	30	1.2
飲食業	58	2.6	60	2.5
生活関連サービス業、娯楽業	30	1.3	28	1.2
その他の業種	105	4.4	95	4.1
個人	906	40.5	917	39.5
合計	2,234	100.0	2,318	100.0

■不良債権の状況 平成27年度の不良債権比率は前年度比0.20%低下しました。

(単位：億円/%)

	平成26年度末	平成27年度末
不良債権残高	179	182
不良債権比率	8.03	7.83

9 | 普通出資金・組合員数の状況

● 当組合は多くの組合員の皆さまに 支えられています。

平成 27 年度末につきましては、普通出資金で 104 百万円の減少、組合員数で 170 名の減少となりましたが、当組合は引き続き多くの組合員の皆さまに支えられています。

■直近 3 年の状況

(単位：百万円/人)

	平成 25 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度末
普通出資金	4,958	4,856	4,751
組合員数	45,062	44,517	44,347



10 | みずほフィナンシャルグループとの関係

● 第一勧信はみずほフィナンシャルグループとの 緊密な関係を保っています。

当組合は、日本勧業銀行の職域組合（大正 10 年設立）が母体となり、昭和 40 年 5 月に、地域信用組合「日本勧業信用組合」としてスタートいたしました。昭和 46 年には、日本勧業銀行と第一銀行が合併し第一勧業銀行が誕生したこととともない、名称を「第一勧業信用組合」に改称し現在に至っております。

このように銀行直系の信用組合として発足した沿革から、第一勧業銀行と緊密な関係を保ってきた長い歴史があります。また、平成 14 年 3 月には第一勧業銀行とその親密会社から優先出資を受け、直接的な出資関係もある金融機関となっております。

その第一勧業銀行は、富士銀行・日本興業銀行とともにみずほフィナンシャルグループを結成し、みずほ銀行として再編されましたが、当組合との関係は従来同様変更はありません。

なお、当組合の名称は、すでに 45 年におよぶ長い間、地域の皆さまに愛着を持っていただいておりますことから、第一勧業銀行がみずほ銀行となりましたが、現在のところ私どもが名称を変更することは考えておりません。

当組合は、第一勧業銀行の直系信組として発足した経緯を大切にしつつも、地域金融機関としての特色を発揮し、地元組合員の皆さまのご繁栄のため、今後とも自主独立の経営に専念してまいります。

